

ソーシャルワーク・教育・社会開発合同世界会議(SWSD2024)への参加 ～秋元名誉所長キャサリン・ケンダル賞授与式ほか～

4月4日～7日に、中南米に位置するパナマにて、ソーシャルワーク・教育・社会開発合同世界会議(SWSD2024)が開催されたところ、秋元樹・名誉所長、松尾加奈・上席研究員、東田全央・主任研究員が参加しました¹。本会議は、1928年にパリで開催された第1回ソーシャルワーク国際会議にルーツがあり、国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)、国際社会福祉協議会(ICSW)、国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の3つの国際組織の共催により、パナマ・ソーシャルワーカー協会のホストの元で開催されました。

4月6日に、秋元名誉所長が、キャサリン・ケンダル賞受賞(Kara No.59 参照)にかかる記念講義を行いました。「一世紀を越える国際ソーシャルワーク」と題され、西洋生まれ専門職ソーシャルワーク、仏教ソーシャルワーク、すべての人びとのソーシャルワークの議論を包含しつつ、新しい国際ソーシャルワークのあり方を問いかける内容でした。発表後、会場よりスタンディング・オベーションによる賛辞が送られたことから明らかのように、国境を越えて観衆から大きな関心が寄せられました。

また、4月4日に東田研究員が分科会(「ポストコロニアル・脱植民主義・先住民・解放的アプローチ」)にて「ソーシャルワーク実践に関するもう一つの言説の探求」に関する口頭発表を行い参加者と意見交換を行ったほか、松尾研究員らが各国参加者とのネットワーキングを行うなど、様々な形で学術的な国際交流を行いました。なお、次回は2026年にケニア・ナイロビで開催されることが正式に発表されました。



キャサリン・ケンダル賞授与式 (4/6)

中央：A.カンパニーニ IASSW 会長、左：L.ヒーリー名誉教授



秋元名誉所長による記念講義 (4/6)



東田研究員による分科会口頭発表 (4/4)



IASSW ブースにて松尾研究員ほか

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースは当研究所のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.shukutoku.ac.jp/university/facilities/asiancenter/>

◆淑徳大学内ではSナビにて月1回程度配布されます。

¹ 本研究はJSPS 科研費 JP23H00900 の助成を受けたものです。